

海南市大崎LPP

大崎地区の歴史と現状を体験的に調べ、暮らしを持続的なものとするためのステップを議論する

観光学部2年 宇田朱純、柏木大和、加田瑞稀、村井美南、渡邊真優

観光学部1年 東彩花、山口あいり



LPPについて

私たちは海南市の中でも北西にある大崎地区を主な活動地としています。活動は大崎でのイベントをお手伝いしたり、今年は昨年度から制作を続けてきた大崎ガイドブックの完成を目指したりなど積極的に活動をしました。また、大崎LPPのインスタを創設し、魅力を発信したり、大崎の魅力を多くの方に知ってもらうために、大学祭での模擬店出店にも挑戦したりなどしました。

宿泊体験

6月28日、29日に実際に大崎を訪れ宿泊研修を行いました。

1日目はかざまちのピザ窯をお借りして大崎の皆さんに手伝ってもらいながらピザパーティを開き、皆さんの話を伺いました。次の日は朝シーカヤック体験をさせていただき午後は頂いたお魚とかざまちのお弁当をいただきました。この2日間の貴重な体験を通してとても有意義な学びを得ることができました。



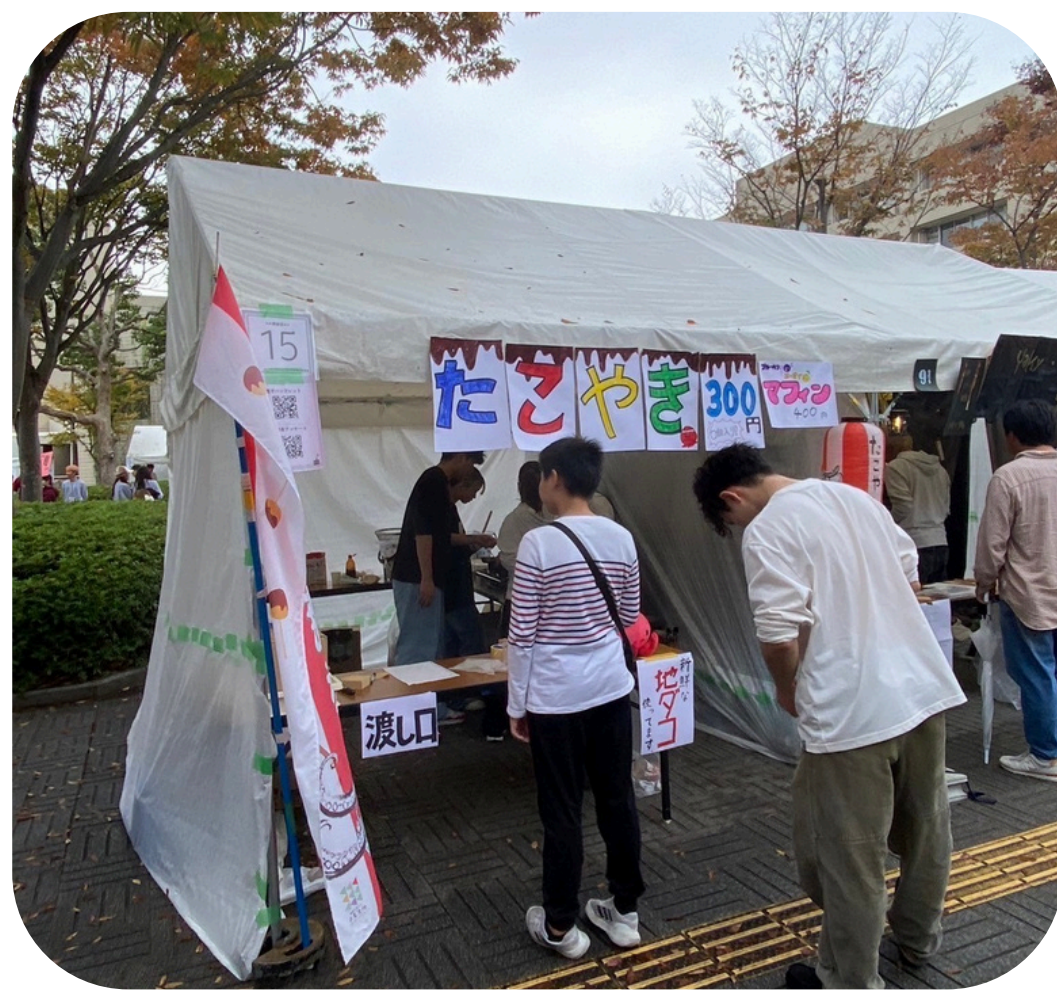
ブルーベリー

今年度も大崎で一般の方向けにブルーベリー摘み取り体験が行われました。私たちも体験のサポートをまわるとともに今年はブルーベリーを使ったスムージーを販売しました。スムージーの開発のために何度もミーティングや試作を重ね、当日は多くの方に良い評価をいただきました。大崎のブルーベリーを最大限活かすにはどうすればよいか全員で考え、販売するという貴重な経験をすることができました。



大学祭

11月17日の大学祭2日目には、かざまちのタコ焼き機をお借りして、大崎産の地だこを使って作ったたこ焼きを販売しました。最初は、時間が足りなかったり、焦がしてしまったりと思い通りに販売を進めることができませんでした。しかし、徐々に上達していき、目標販売数を超えることができました。大学祭をやり遂げたことで、達成感を感じ、皆と喜びを共有できたため、かけがえのない思い出になりました。



ガイドブック

昨年度から制作を続けてきた大崎ガイドブックが完成しました。制作するにあたり、文章の構成やレイアウトなど自分たちで考え、誰もが大崎を訪れたいくなるようなものになるように制作をしました。このガイドブックには私たちが考える大崎の魅力や私たちの大崎に対する思いがたっぷり詰められています。たくさんの人にこのガイドブックを手にとってもらって大崎の魅力を感じてもらい、「実際に行ってみたい!」と感じてもらえれば、とてもうれしいです。



まとめ

昨年度から制作を続けてきた大崎ガイドブックが完成し、多くの人に大崎の魅力について知ってもらういいきっかけになりました。また、大学祭での模擬店出店は準備から始まり、大変なことがたくさんありましたが、大崎の方々やメンバーと力を合わせて、素晴らしい一日にすることができました。私たちにとって、大崎はふるさとのような場所であり、心の拠り所でもあります。今後も、この素晴らしい場所が永続的に地域の方に愛されるだけでなく、より多くの方に愛される場所になることを目標に活動を続けたいです。